

# 寄せられた意見

No. 56

受付日	H17. 7. 12	年齢	居住 市町村名	名寄市
件名	河川の環境に関わるサンルダムについて			
河川の環境に関わるサンルダムについて				
<p>私は名寄市に居住しておりますが、折に触れ、名寄川や天塩川の河川敷を散策し、春の雪解けから河川敷が雪に埋まるまで、四季折々の川の風景を楽しんでおります。</p> <p>ここ数年、川岸を歩いていて少々気になる事があり、最近のサンルダムに関わる様々な意見を耳にして、これまでとは違った視点でダムを考える必要もあると感じております。</p> <p>名寄川、そして天塩川では、春の雪解け時期には川幅一杯に流れがあふれ、山々の恵みをあらためて感じる事ができます。</p> <p>ところが、名寄川では一ヶ月も過ぎると水はどんどん減り始め、毎年6月中旬頃には部分的に川底の露出が目立つようになります。</p> <p>こうした渇水の時期に入ると、下流域では特に、ところどころで淀みが出来て、清流の爽やかさとはかけ離れた、土臭く、かびが生えたような臭いに出くわします。</p> <p>近年特にひどくなっているように感じるのは私だけでしょうか。</p> <p>以前に市民見学会で市内の浄水場を見学する機会があり、その時に担当の職員の方から、名寄川の水量が減っていくと水道の原水に臭いが付き、それを活性炭を使って取り除いていることを聞きました。まさに、そのことは私が川岸で感じたことと同じでした。</p> <p>たしかに上流には町があり、様々な施設があつて、その排水の影響での水の汚染も考えられますが、最近では下水道や河川の汚染に対応した施設も出来ていると聞いており、一概にその影響とは言い難く、もとより、豊富な水量があれば感じる事のない現象だと思っています。</p> <p>上流の自然の豊かさを持ってしても、渇水は止む得ないことなのかもしれませんが、あの春先の水の豊かさを考えると、もったいなく感じてしまいます。</p> <p>あの豊富な水を蓄えることのできるダムを活用し、必要なときに川を生き返らせるために使えたらほんとうの意味で川の環境を守ることにつながるのではないかと考えます。そうすることで流域全体にもっと多くの魚が生息し、生態系も豊かになるのではないのでしょうか。</p> <p>これまでダム建設の意義は、今議論になっている治水や利水に目が行きがちですが、川の水量の豊かさを守るダムの在り方についても、もっと議論をしていただきたいと思っています。</p> <p>治水、利水そして川を守るダムであるなら私はその建設に賛成します。</p>				